

# 泉の森 なんでも情報館

2012年 秋号(No.7)

発行 しらかしのいえボランティア協議会  
エリアマップ作成班

## クローズアップエリア その7 キャンプ場・くぬぎの森周辺

バーベキューの匂いと笑い声にあふれる泉の森のキャンプ場。数千年前、このあたりに住んでいた人々も、家族や仲間と火を囲んで談笑していたかもしれません…。縄文人の暮らしを支えた豊かな自然の中で、秋のひと時を過ごしてみませんか？



泉の森ふれあいキャンプ場。あなたもバーベキューを楽しんでみませんか？(p.2参照)

子供達は木登り・ブランコなど大はしゃぎ！



くぬぎの森の散策路。ボランティアの皆さんがきれいな森を守っています。(p.3参照)

なんと縄文遺跡もあるのです。昔の人はどんな暮らしをしていたのでしょうか？(p.2参照)



## 泉の森に縄文人が住んでいた！

くぬぎの森の脇に縄文遺跡の案内板があるのをご存知ですか。上草柳第3地点東遺跡です。縄文時代中期の住居址が3軒、それに多数の石器、土器が発見されています。遺跡は水源に近い小高い丘の上にあります(発掘調査後、埋め戻して現在は国道246号線の下です)。

なぜ、このようなところに縄文時代の遺跡があるのでしょうか。実は大和市が位置する相模野台地は神奈川県の中でも、旧石器時代や縄文時代の遺跡が集中している場所なのです。中でも、泉の森の水源周辺は縄文人の居住地として良好な条件を備えていたようです。その条件とは、水場と安全、日当たり・見晴らし、そして食料の確保です。水が生活に必要な不可欠なのは言うまでもありませんが、水場には獲物になるシカやイノシシなどの動物や鳥が集まってくるし、コイやフナ、アユなどの魚もいます。遺跡からは石製のやりや槍の穂先、魚をとる網につける土器製のおもりが出土しています。また、落とし穴の遺構も発見されています。安全面では特に大雨対策が重要です。その点、台地の上は洪水の心配はありません。水はけの良い、なだらかな傾斜地が選ばれました。当時は竪穴住居なので水はけの良さは必須条件でした。現代でも日当りは重視されますが、縄文時代も台地の南面が好まれています。見晴らしがよいというのは景色を楽しむというより獲物を素早く発見するためです。

その他にも縄文時代の主食と言われる木の実が豊富に取れることも大事な点です。土器の利用により煮炊き、アク抜きが可能になり、それまでのクリやクルミのほかにトチノミやドングリなど食べられる木の実が大幅に増え、食料事情が格段に向上したのです。ちなみに遺跡から石皿や磨石(すりいし)が発見されていますが、これは木の実をすり潰して粉にする道具で、縄文人はその粉をこねてダンゴにするなどして食べたようです。泉の森に多いシラカシやマテバシイ、クヌギ、コナラなどの実はよく食べられたことでしょう。また、クズ、ワラビ、ユリ、キツネノカミソリ、カタクリなどの地下茎や球根も食用とされました。これらを掘る道具である石製の掘り具が遺跡から出土しています。

泉の森は縄文人にとっては、とても住みやすい場所だったのかもしれない。

(橋本 幸夫)

参考文献

大和市史、  
大和市史ダイジェスト版、  
朝日百科「日本の歴史」



## キャンプ場でバーベキューはいかが？

仲間同士あるいは家族連れの皆さんが、いつも楽しそうに野外炊飯をしているふれあいキャンプ場。私達エリアマップ作成班も、実際にバーベキューをやることにしました。わかったこと・・・ここはとても素敵な施設で、利用しないのはもったいない・・・皆さんもいかがですか？

### 1. 予約申し込みは？

電話(046-260-5795)で事前予約できます。ただし、\* 人気スポットなので、土・日・祝はもう12月初めまで満杯。早めの予約か平日狙いがいいでしょう。なお、12月から2月までは土・日・祝だけの利用になります。\* 泉の森を散策されてる方なら、キャンプ場事務所に行って申し込むのが簡単。下記道具の貸し出しも一緒に申し込めます。詳細はしらかしのいえにも置いてある“泉の森ふれあいキャンプ場”パンフレット参照。

### 2. なんと道具も無料で借りられます。

施設利用が無料だけでなく、包丁・まな板などの炊事道具や、鉄板・焼き網なども一式無料で借りられます。初めての方には、事務所の方が、道具やかまどの使い方、あるいは火のおこし方や火の始末について、丁寧に説明してくれます。持参するのは食料・食器・粉クレンザー等。駅近くのスーパーで旬の物やお好みの飲み物(ジュースやビール)を仕入れてきました。なお、事務所にて使い捨て皿やコップ、あるいは油やたれなどの各種バーベキュー用品や薪・炭の販売も行っていますので、それを利用することもできます。

### 3. 緑に囲まれ、おいしくいただいたら、皆で後片付け。

\* 火の始末: 燃え残りは、水をかけるのではなく、ちり取りで集めて事務所裏の灰置き場に移します。わからないことは事務所の方に聞いて下さい。

\* 鉄板・網は研磨剤入りたわし(スコッチブライト)・クレンザーで焦げ痕・煤を綺麗に洗います。次に使う人が気持ちよく使えるよう、頑張ってください。

\* 当たり前ですが、ゴミは自宅まで持ち帰り。  
\* 4時(7, 8月は6時)に閉まるので、早めに始めて早めに片付け終わるようにしましょう。

さて皆さん、縄文時代の人達に思いを馳せながら、やってみるのが一番ですよ！

(伊藤 健一)



キャンプ場事務所



無料で借りられる道具類



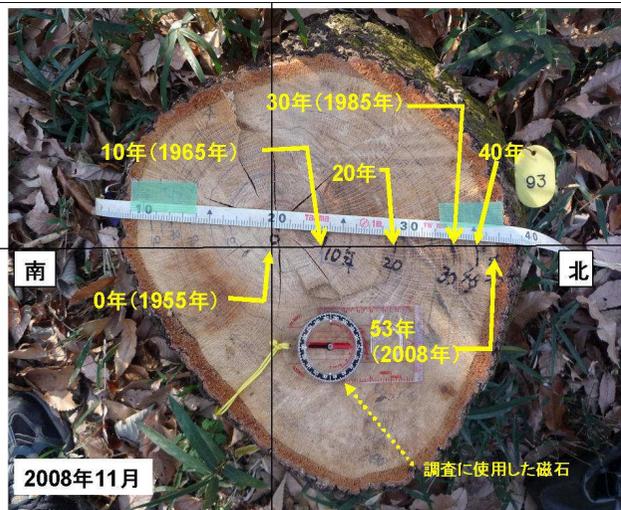
<寄稿> 森を楽しむ ～くぬぎの森～ 本田 実 (しらかしのいえボランティア協議会・植物調査班)

泉の森の一角にくぬぎの森があることをご存知でしょうか。ここは9年前から古木の伐採・その後の萌芽更新(\*)による森の再生活動を行っている場所です。今年(2008年)はロンドンオリンピックの年でしたので、その歴史と比較しながら、森の再生活動の記録を分かり易くご紹介致します。

(\*)萌芽更新: クヌギ、コナラ、クリなどの広葉樹を伐採後、その根株から新たに出てきた芽(萌芽)を生育させ、森林の再生を図ること。

1)年輪調査

下の写真は、2008年11月に伐採したクヌギの年輪です。樹齢から逆算して1955年頃に植樹されたこととなります。一年後の1956年にはメルボルンオリンピックがオーストラリアで開催されました。その後ローマを経て1964年(年輪9年)東京オリンピックが開催されました。今から48年前の事であり、懐かしい記憶をお持ちの方が沢山かと、年輪を楽しむ一場面でした。



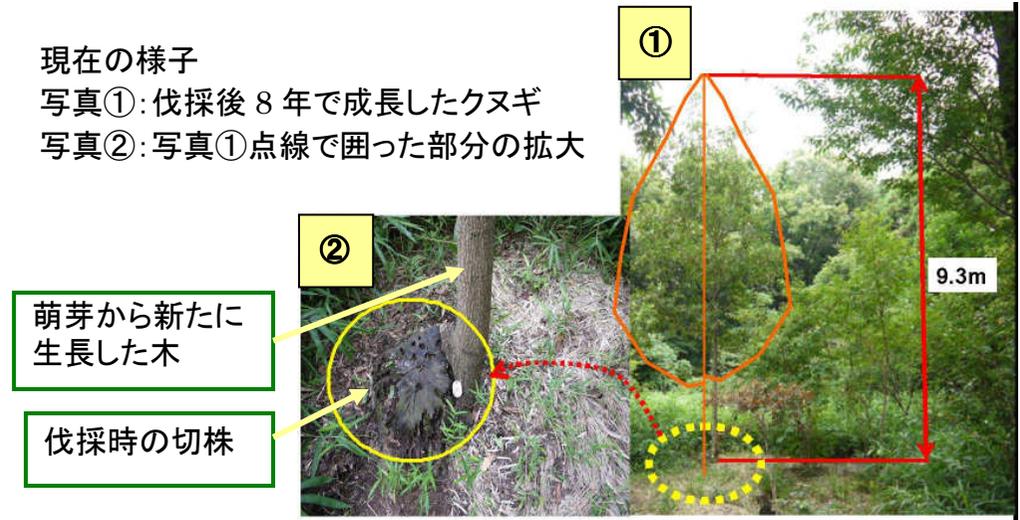
伐採;2008年11月  
(北京オリンピックの年)  
標識;黄色No.93  
樹種;クヌギ  
樹齢;53年

2)生長調査

2004年1月に伐採したクヌギの、その後の生長の話をしてしましよう。今年1月測定結果は 樹高9.3m 胸高径12cmでした。4年後(2008年)には樹高13m、8年後(2012年)二度目の東京オリンピックが開催されたとして樹高は17mになっていると、これまでの生長実績から推測出来ます。さて、興味ある方は立ち会って生長を楽しんでみませんか。

現在の様子

写真①:伐採後8年で成長したクヌギ  
写真②:写真①点線で囲った部分の拡大



萌芽から新たに生長した木

伐採時の切株

伐採;2004年1月  
(アテネオリンピックの年)  
標識;白色No.2  
樹種;クヌギ 樹齢;55年

➡  
☆萌芽更新  
☆生長段階

生長調査;2012年1月  
(ロンドンオリンピックの年)  
樹齢;8年 樹高;9.3m  
胸高径;12cm

“カントリーヘッジ”って何のこと?

くぬぎの森の散策路は、伐採した木の幹や枝を積み上げた低い柵で仕切られており、この柵を“カントリーヘッジ”と呼んでいます。このカントリーヘッジは、単に散策路を仕切っているだけではありません。実は、昆虫の棲家になる場所なのです。カントリーヘッジがあると、そこに落ち葉が堆積して湿った環境が維持されやすくなり、何より人や動物から身を隠すのに都合がいいのです。

こうしたカントリーヘッジを作ったり、あるいは雑草を刈り取ったりしているのは、ボランティア協議会 環境管理部会・植物調査班の皆さんです。昆虫達も感謝しているかもしれませんね。

(伊藤 健一)



カントリーヘッジ

## 飢えを救った植物 ~キツネノカミソリ、ヒガンバナ~

お盆の少し前から、くぬぎの森の周辺にオレンジ色のユリのような花が咲き始めます。花の少ない季節に、ひときわ目立つこの花の名は、キツネノカミソリ。名前の由来となったカミソリに似た葉は、花の咲くころには見られません。キツネノカミソリの葉は早春に伸び始め、夏、花が咲く前に枯れてしまいます。花が咲くときに葉がない植物というと、ヒガンバナを思い出しますね(ヒガンバナは花が終わってから葉が出てきます)。

キツネノカミソリもヒガンバナも、同じヒガンバナ科ヒガンバナ属の仲間で、どちらも有毒植物です。特に鱗茎(球根)にリコリンなど様々なアルカロイドが含まれています。それでも昔は、飢饉などで食べ物がなくなると、キツネノカミソリやヒガンバナの鱗茎を水に何度もさらして毒を抜き、食用にしていました。毒抜きの方法が確立するまでは、多くの人が命を落としたものと思われまます。この方法は縄文人も知っていたようで、キツネノカミソリの鱗茎が出土した縄文遺跡もあります(2 ページの記事参照)。食べ物が豊富な現代に生きる皆さんは、キツネノカミソリやヒガンバナを食べてみよう、なんて思わないで、見て楽しむだけにしてくださいね!(注:キツネノカミソリの花期は、今年はずでに終わっています。ヒガンバナは引地川沿いに群落があり、10月上旬までは花が見られるでしょう。)(小林 みどり)



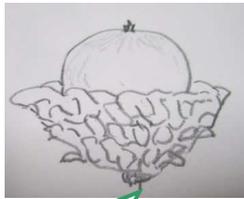
キツネノカミソリ



ヒガンバナ

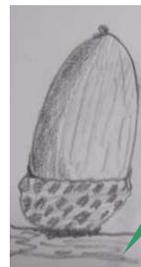
## ドングリ・ア・ラ・カルト

暑い夏が過ぎ、シラカシのドングリなどこれから実が熟し始めます。去年は台風で熟す前に大部分が落ちて心配しましたが、ここ「泉の森」には、どんなドングリがあるのか調べてみました。1)ドングリまなこの語源になった丸い種類のクヌギ、2)殻斗(かくと)が大仏様の頭のようなコナラ、3)泉の森のシラカシ、4)次の年にならないと熟さないマテバシイ、など。木の実のドングリは春に花が咲いて、その年の秋に熟し実が落ちますが、中には次の年にならないと熟さない種類もあります。冬、クヌギやマテバシイなどの樹を見ると木の枝に小さなドングリの子どもが付いているのを見られるでしょう。(藤井 和子)



丸い形のクヌギのドングリ  
殻斗はライオンのたてがみみたい

卵形のシラカシのドングリ  
殻斗にさわってみてください



大きなマテバシイの  
ドングリ  
レシピも見  
てね

### <ドングリ レシピ>

★生で食べられる★ マテバシイ・スタジイ…マテバシイは炒って食べると、さらに甘味がアップします。

#### ★ドングリせんべい★

- 1 マテバシイの中身をすり鉢でする。あまり細かくしなくても大丈夫。
- 2 平べったい形に手で伸ばす。少し粘り気があるので固まります。
- 3 オーブントースターで少し焦げ目が付くくらいまで焼いて完成！  
素朴な味です。少し塩をかけて食べると良いです。置いておくと固くなるので、早めに食べるのがポイントです。

#### ★ドングリ団子★

- 1 上新粉にアク抜きをしたドングリ粉を混ぜる。
- 2 少しずつお湯を混ぜ、耳たぶぐらいの固さに丸める。真ん中をへこませる。
- 3 熱湯で茹でる。アツアツのうちに召し上がれ……。(藤井 和子)

第8号は12月発行の予定です。<クローズアップエリア>では、しらかしの池周辺をご紹介します。どうぞお楽しみに!